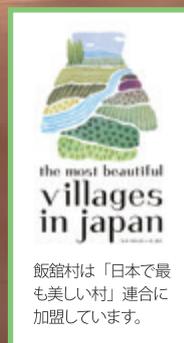
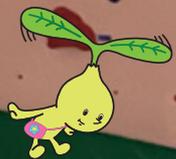


広報 
No.695
令和4年

いいたて

1
2022



迎春

明るい年になりますように

令和4年、新しい一年が始まります
「わくわく」がたくさん生まれる
素敵な年になりますように
本年もよろしく願っています

2022

- 2 今月の話題「迎春」
- 4 新年のごあいさつ
- 6 特集1「寅年インタビュー」
- 10 報告「飯舘村表彰式」ほか
- 11 お知らせ「マイナンバーカード」ほか
- 12 報告「12月議会定例会」
- 14 飯舘百景「いいたて冬まつり」
- 16 特集2「令和2年 紙上成人式」
- 18 学びの広場「こども園・学園だより」
- 19 ほけんとふくし「口腔ケア」ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 はなれていても／ふれ愛館だより
- 24 入札結果 ほか
- 25 おしらせのページ
- 26 いいたてDIARY／までの食卓
- 27 ふるさと資源／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／飯舘言葉の達人



今月の表紙

『までの里のこども園』で12月17日に開かれた「おたのしみ会」の一場面。0歳から2歳児はキャンドル型のライト、3歳から5歳児は小さなキャンドルを持って、聖夜の雰囲気味わいました。また、ダンスをしたり、優しいサンタさんからプレゼントを受け取ったり、おいしいケーキもいただいて、わくわくいっぱい楽しい会となりました。



飯館村長

杉岡 誠

ふるさとを味わい磨き上げる新年に向けて

あけましておめでとございます。
お元気で新年をお迎えのこと
と、謹んでお慶び申し上げます。
昨年は、各自治体との連携によ
るワクチン接種など、村民の皆様
の命と生活を守る取組みを第一と
した二年でした。
皆様の格段のご理解とご協力
により、全村民のワクチン接種率
は約90%に到達し、県内の感染
状況もひとまず落ち着いており
ます。これも二重に、お一人お一人が
日々の生活の中で粘り強い感染
防止対策を徹底いただいたこと
によるものと、あらためて感謝申
上げます。

村としても、3回目のワクチン接
種会場を村内に設けることとし、
2月末から村が個々の接種日の割
当てをする予約不要の集団接種
を実施すること致しました。
皆様におかれましても、昨年末
に給付致しました「新型コロナウイルス
イルス感染予防のための給付金」
や「子育て世帯への臨時特別給
付金」をぜひ有効にご活用いた
さき、さらに健やかな日々をお過
ごしいただきたく存じます。
昨年10月末に村長に就任して
からのこの一年、新たにご家族で移
住される方、農畜産業に携わる
方、お店を開く方、村にこだわった

産品作りに邁進される方など、意
欲の高い方々が村に彩りを加えて
います。

これは、今ある状況をチャンス
と捉え、前向きに行動に移してい
く、という「気風」を村民の皆様
が培ってきて下さったからです。
村の気風を感じる「ふるさとの担
い手」が、それぞれのお立場で、村
「を」楽しむ、村「で」楽しむこと
が、ふるさとへの誇りと愛着を育
み、村を元気にしていく原動力に
なります。

令和4年度の指標を「次世代・継
承」「なりわい」「10年後を見据え
る」「帰還困難区域」としました。

震災のときに小学生だった方
も、今や多くが成人を迎えられて
います。村の内外分け隔てなく
新たな世代が可能性を見出だす
「わくわくするふるさと」を創出
することが1点目の「次世代・継
承」の目標のひとつです。

2点目の「なりわい」は、企業誘
致、起業支援を含む産業創出を
強力に進めるということです。
この一例として、昨年12月に木

質バイオマス発電施設緊急整備
事業が国の事業採択を受け、村
議会の議決をいただきました。里
山の再生、村経済の活性化・村民
所得の向上、ふくしま全体の復興
への貢献、脱炭素社会（ゼロカー
ボン）の推進、廃熱を利用した未
来志向型農業の振興という5つ
の大きな効果が、村の根幹となる
「人」を増やすことに直結する「
石六鳥の持続可能な事業です」
3点目の「10年後を見据える」
は、復興期間後の村を見据えた
施策に取組むということです。
4点目の「帰還困難区域」は、
村の最重要課題のひとつであり、
長泥地区拠点区域の令和5年春
の避難指示解除に向けて、さら
に取組みを加速していきます。

私たち飯館村民の中に息づく
「開拓」の魂を胸に、誰もが輝かし
い未来を描き続けていける村に向
かつて、全力を尽くして参ります。

本年が皆様にとりまして、豊か
で幸多い一年となりますよう、ご
祈念申し上げます、私からの新年のご
挨拶いたします。



飯館村議会議長

佐藤 一郎

一緒にやりましょう！力強いふるさとの再生を

新年明けましておめでと
ございます。
改めまして、私は第14代村議
会議長に就任をいたしました大

倉行政区の佐藤一郎です。精一杯
務めさせていただきま
すのでよろしくお願
い申し上げます。
改選により村議会には4人の
新人議員が加わり、議会の役割
を果たせるように、様々なテー
マを持ちながら研修・勉強会を重
ね、積極的な議会活動をしてい
るところであります。

今年
の干支は寅年です。「虎は
千里行つて千里帰る」ことから「勢

い盛んな年」と言われておりま
す。飯館村も震災後10年がたち、
さらに勢いのある村復興の年にし
ていきたいと思
います。

さて、これまで飯館村は「震災の
影響」「環境変化による大雨の災害」
「コロナワクチン接種の問題」「高
齢者世帯の買い物問題」等々と課題
は山積みであります。新年にあ
たり「3つの視点」をお話しし、ご
挨拶に代えさせていただきます。

まず1つ目は「人口減少」の視
点です。いまコロナで「変化した世
の中は人口減少が一層進み、労働人
口も減って、働き方も会社のあり

ようも、暮らし方も変わるので
ないかと言われております。既に
飯館村の人口は震災で一気に減少
しておりますので、これから戦略
的な土地利用と暮らし方の視点
を持つて、20行政区の村づくりの
議論を進めたいと思
います。

次に2つ目は「基盤整備を積極
的に進める」視点です。安心して村
で暮らせるように、少子高齢化対
策、教育が大切になります。その実
現のためには、所得を上げて財源と
なる村の税収を増やす必要があり
ます。

いまやるべき事は、国の第2期復
興・創生期間の前期5年間（令和
3〜7年度）中に、除染後の農地
をさせるように、20行政区の基盤
整備を積極的に進め、所得を上げ
る政策や、この美しい村を守るため
の視点を持つて議論を進めたいと
思
います。

最後に3つ目は「街づくり」の視
点です。20行政区の村づくりはこ
れまで同様に進める訳でありま
すが、いま村を横断する県道のバ

イパス工事が進み、各戸の解体工
事も終わり、村の中心部と言われ
てきた草野、飯樋、白石・二枚橋地
区の街並みが大きく変わろうと
しております。今後は深谷の道の
駅周辺も含め、県・村の公共施設、
公共用地を生かした、コンパクト
な魅力ある商工業の街づくりの
視点を持つて議論を進めたいと思
います。

いずれも村議会だけで出来る
ものではありません。今後、村執
行部、農協、商工会、各種団体と
も議論を重ね、その各施策を村の
基本計画に早急に入れて、国の第
2期復興・創生期間の前期5年間
が終わつてからも、引き続き国・県
からの支援が受けられるように
努めていきたいと思
います。

村の復興は毎年、確実に進んで
おります。今後とも安心して飯
館村で暮らすことが出来るよう
に、寅年は勢いに乗りながら、諦
めずに一緒にやりましょう！継続
は力な
ります。

寅年

2022

年男・年女インタビュー!



周りから学ぶ。継続は力なり

震災からあつという間に10年。父が守ってくれた仕事を受継ぎ、白石自動車整備工場の代表取締役になって丸1年。驚くほどあつという間に過ぎ去った1年でした。今は3人の子どもの生まれ、親としての責任を強く感じています。現在は、こども園のPTA活動や商工会青年部、村のイベントなどに積極的に参加するようにしています。周りの方から学ぶことがたくさんあり、人をよく見て良いところをたくさん吸収し、何事も前向きに考えるように心がけています。



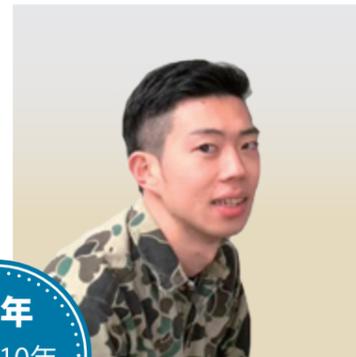
寅年
昭和61年
生まれ
高橋 匠さん
(上飯樋)

新しい年にやってみたいことは

今年こそ、たくさん身体を動かしていきたいです。昔からとにかくスポーツが大好きでしたが、最近はずっと身体を動かさず、子どもと少し遊んだだけで疲れてしまい、体力の衰えに愕然としました。村でやっているクラブやイベントに参加して、積極的に身体を動かしていきたいです。

未来の村に期待することは

村長のもと、村の若い力を最大限に生かし、村でチャレンジしたいという若年層の方々への環境づくりがさらに構築されたいな、という思いがあります。惜しみなく協力してくれる事業所や村民の方が、たくさんいると思います。村を守ってくれた高齢者の方々に安心させるためにも。



寅年
平成10年
生まれ
菅野 龍(りょう)さん
(草野)

夢をかなえて恩返しをしたい

教員を目指して大学に進学しましたが、その後のいろいろな体験を通して英語に興味を持つようになりました。現在も学生で、英語を生かせる仕事につきたいと考えています。もともと1人で旅をすることが好きで、国内を旅行する間に外国の人と出会う機会があり、英語をもっと話せたらと感じるようになったことがきっかけです。現代を生きていく中で、日本語だけ、日本人とだけ話しているより、きっと人生が豊かになる、英語を使えるようになりたいと思っています。

新しい年にやってみたいことは

新しい年一。変異株が現れて新型コロナウイルス感染症の第6波が来るのではないかと懸念されていますが、コロナの状況が徐々に落ち着けば、遠出もできるようになるでしょう。そうなったら旅に出たいですね。まずは関西方面に行ってみたいと思います。旅の本などには出ていない場所を歩いて、出会いを楽しみたいです。

未来の村に期待することは

自然の中で遊んだ小さな頃の思い出が今も心に強く残っています。催しもたくさんあって、他の小学校の人も友達になれる憩いの場だったことを覚えています。今は様々な難しさもあると思いますが、さらに活気あふれる村になってほしいですね。僕自身、目標は変化しましたが、どんな形であれ村への恩返しをしていきたいと思っています。

寅年

2022

年男・年女インタビュー!



寅年

昭和25年
生まれ

高倉 君枝さん
(前田)

あつという間に金婚式を迎えて

全村避難が解除されて村に戻って来てから、おこわを作って道の駅で販売させていただいています。毎年1月からは凍み餅づくりも始めます。自分が作ったものをたくさんの方に食べていただけることはやっぱりうれしいし、やりがいを感じられますね。趣味は手芸でちよとした物を作ることやお花を育てること。特に手芸は、毬(まり)やフクロウ、小さなお花など、今まで本当にいろいろな物を作ってきました。どこで売る訳でもありませんが、凍み餅の時期が終わったら作り始めています。

新しい年にやってみたいことは

おこわや凍み餅を作り続けて、たくさんの人に食べてもらいたいですね。

2021年は金婚式を迎えました。年越しは、息子夫婦が金婚式のお祝いをしてくれるということで、温泉へ連れて行ってもらうんです。あつという間に50年が経ったんだなあ、と驚きです。せっかくの機会なので、ゆっくり楽しんでいます。

未来の村に期待することは

みんなで力を合わせて立派な村にしていけたらいいな、と思います。村長も新しくなって1年、村民みんなが協力し合いながら村づくりを進めていけたらいいですね。個人のことはなくなってしまいますが、親も、私達夫婦も金婚式を迎えることができたので、ぜひ息子夫婦にも金婚式を迎えてほしいな、と思っています。



寅年

昭和49年
生まれ

大井 利裕さん
(草野)

ありきたりじゃない楽しい村に

震災前はラーメン店の店主でした。商工会の青年部で相双連絡協議会の会長にもなっていて、様々な形で村内のイベントにも関わっていました。震災の影響で店の建物が使えなくなり、避難も始まって、すぐに商売どころではなくなりました。知人に声を掛けられ振興公社で牛の仕事をしたり、見守り隊で夜間のパトロールを担ったりしました。落ち込んでいる間もないという感じでしたね。令和3年の4月からは正式に振興公社の職員となりました。妻も村内の事業所で働いています。

新しい年にやってみたいことは

令和3年に村が立ち上げた「わくわく推進協議会」で委員長を務めることになりました。空白の10年がありマイナスからのスタートですが、自分達も村も盛り上がるようなことができるよう、手探りでも失敗を恐れず進めていきたい。40年間村で暮らし、祭りにイベントに携わってきた者として、これからも村に関わっていきたいと思っています。

未来の村に期待することは

関わり努力し続けていくしかないですね。よかった悪かったを判断するのは俺達じゃなくて未来の人。震災前の村に戻る事が難しいからこそ、ありきたりじゃない、型から少しはみ出すような村にできればいいんじゃないかな。若い人がやりたいことをやれる、皆とわいわい楽しめるような村に。この10年、皆一生懸命にやってきたのですから。



寅年

昭和13年
生まれ

赤石澤 備(すなお)さん
(上飯樋)

にぎやかに暮らせる村になれ

村に戻って、野菜と花をつくって、道の駅に出しています。この家には思い出があり過ぎて、壊すことができなかった。800石の木を切って建てた家なんですよ。そして、こうして農作業を継続できているのは、夫婦2人、元気であるから。子ども5人を育てるために働いて鍛えられたその甲斐がありましたね。「若い頃の苦労は買ってでもしろ」とおばあさんに言われていましたが本当でした。2人だから仕事をしていられる。つい先日も冬野菜をハウスに入れて、真冬の到来に備えたところです。

新しい年にやってみたいことは

震災の年から裏山にヤマツツジ500本、レンギョウ500本、赤い花が咲くウツギを300本位植えてきました。これを花見山のように育てていきたいと思っています。改築した善應寺から譲り受けた畳も敷いてあるんですよ。平らな所にはロウバイ、トキワマンサク、サルスベリも。三峯山の参道に植えたイチヨウはいずれ立派な並木に育ってくれるでしょう。

未来の村に期待することは

若い人が暮らしやすい環境整備をしてほしい。商店や娯楽の施設など、採算が取れない部分は国などに補填をしてもらってでも私は思っています。便利な暮らしがあって工場も2つ3つできて農業も大規模化して、ここをふるさとにする人が増えていくことを願っています。家族そろってわいわいがやがや暮らせる村になってほしいですね。



トラボーズミがお

寅年

昭和37年
生まれ

小林 洋子さん
(小宮)

今後は自分の時間も大切に

本当にあつという間に還暦になってしまいます。避難先の飯野町の土地が気に入り、生活の拠点としています。村内勤務のため小宮で暮らす夫と、実家、そして飯野の自宅の3軒をまわりながら家族の世話をしています。現在は飯野町の自宅にある小さな畑で野菜を作っています。うまいかない時もありますが、収穫できた時の喜びが小さな幸せです。最近は韓国ドラマにすっかりハマってしまい、韓国語にチャレンジしてみようかな、と思っています。

新しい年にやってみたいことは

とにかくコロナが終息して、みんなが安心して暮らせることを願うばかりです。JRの「大人の休日倶楽部」を活用して趣味の旅行にたくさん行きたいと思っています。星野リゾートや韓国、家族で訪れた伊豆にももう1度行きたいんです。他にも、家の周りや庭に、花や木を植えて楽しみたいです。

未来の村に期待することは

コロナが終息したら村でもいろんなイベントが開催されて、人の交流や集客、いろいろな活動が活発になってくると思います。近年、道の駅周辺にもいろいろな施設ができたので、村外からも多くの人に来て、村がにぎわってくれるとうれしいです。そして、そんな村の姿を見ることが楽しみです。

令和3年10大ニュース 大募集!

10大ニュースをピタリと当てた方(該当がない場合には最も近かった方)には金賞商品・旅行券5万円分が贈られます(該当者複数の場合は抽選)。また正解率の高い方から10人に『いいたて村の道の駅までい館』の商品券5,000円分を。さらに応募者全員から抽選で10人に同商品券3,000円分をプレゼントします!

金賞の方に旅行券5万円分をプレゼント

令和3年あなたが選ぶ村のニュース ベスト10



12月20日発行のお知らせ版と一緒に全戸配付した応募用紙と郵送用封筒を活用してご応募ください。なお役場窓口、交流センター「ふれ愛館」には、投票箱も設置しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら前回に続き「新春村民のつどい」の開催は見送られることになりました。10大ニュースの発表は、広報いいたて2月号と、動画配信サイトYouTubeの村公式チャンネル内で行います。

問 村づくり推進課企画係 ☎0244-42-1613

マイナンバーカードをお持ちの方 セブンイレブン、スマートフォン、パソコンでマイナポイントの申請や健康保険証の利用登録ができます!

マイナちゃん



マイナンバーカードを利用した各種手続きは、まずはマイナポータルから!

マイナポータルとは—
オンライン申請、自身の情報(税・社会保障の情報、予防接種履歴など)の確認ができる個人用のサイト。詳細は特設サイトで ▶ 
「マイナポータルAP」のインストールは下記QRコードから。



読み込めない場合は、GooglePlay、AppStoreで検索してください。

■セブンイレブンで

お近くのセブンイレブン内、セブン銀行ATMで健康保険証の利用登録や、マイナポイントの申請が行えます。

■スマートフォンで

「マイナポータルAP」をインストールし、案内に従い操作します。

■パソコンで

パソコンとICカードリーダーを準備します。パソコンに「マイナポータルAP」をインストールし、案内に従い操作します。

●健康保険証としての利用について●

マイナンバーカードが健康保険証としても利用できるようになります。※医療機関・薬局によって開始時期が異なります。詳しくは厚生労働省HPで ▶ 

問 マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178
※一部IP電話等でつながらない場合 ☎050-3816-9405

準備物

- マイナンバーカード
- 4桁の暗証番号

※暗証番号は、マイナンバーカードを作成した際に設定した4桁の番号です。続けて3回間違えるとロックがかかり、役場での手続きが必要になりますのでご注意ください。



杉岡村長から功労表彰を受ける菊地さん



長きにわたる貢献を讃えて
令和3年度「飯舘村表彰式」は、11月30日に交流センター「ふれ愛館」で行われ、菊地昇さん、佐藤清磨さんのお二人が功労表彰を受けました。
この表彰は、村表彰条例に基づき、村の伸展に貢献された方を表彰するものです。
表彰式は例年9月30日の「村民の日」に合わせて行われていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を避け、2か月後の11月30日に式を行いました。

飯舘村消防団員38年



佐藤 清磨さん
(小宮)

飯舘村消防団員43年11月



菊地 昇さん
(蔵平)

功労表彰

令和3年度 原子力防災訓練

11月27日、原子力災害を想定した県主催の原子力防災訓練が行われ、村からは村民約20人と役場職員約40人が参加しました。いいたてスポーツ公園を一時集合場所とし、避難退域時検査場である川俣町体育館へ移動してスクリーニング検査を実施した後、福島市南体育館へ避難するという想定で行いました。



バスで避難退域時検査場へ向かう住民移動訓練



避難退域時に行われるスクリーニング検査訓練



令和3年 第8回 飯舘村議会定例会

令和3年12月議会定例会は、12月10日から12月17日までの日程で開かれました。一般質問は14、15日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議会議審議は17日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 令和3年度一般会計補正予算
- 令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和3年度介護保険特別会計補正予算
- 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 飯舘村特定事業活動振興計画に基づく村税の特例に関する条例
- 飯舘村新産業創出等推進事業促進計画に基づく村税の特例に関する条例

飯舘村国民健康保険 条例の一部を改正する条例

- 飯舘村国民健康保険 条例の一部を改正する条例
- 飯舘村水道条例の一部を改正する条例
- 飯舘村税特別措置条例の一部を改正する条例
- 復興産業集積区域における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 企業立地促進区域及び避難解除区域等における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 特定復興再生拠点エリア集会所等施設整備工事請負契約について 専決処分の承認について

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

原子力防災・住民避難訓練
11月27日、福島県主催の『原子力防災・住民避難訓練』が飯舘村を会場に行われました。訓練は、東京電力福島第一原子力発電所で事故があり、飯舘村にも放射能汚染が広がったという想定で行われ、村民、約20名が2台のバスで福島市に避難するという内容で実施されました。訓練の一環として、川俣町においてはスクリーニング検査訓練が行われ、参加した職員や住民の方は、実際の有事を想定した訓練に真剣に取り組んでいました。

村民の帰還状況

12月1日現在の村への帰還者は636世帯、1234人で帰還率は約24.6%となっています。これに、震災後の転入者194人といたってホームの入居者等を合わせ、村内の居住者は771世帯で1479人となっています。

わくわく推進協議会

村では、村民の活力創出と新たな地域づくりを進めるため、住民主体での地域活性化等について意見交換や事業提案・事業実施等を行い、村の将来を担う人材の育成を目的とした、「わくわく推進協議会」を10月25日に設置しました。
この協議会では、村の情報の効果的な発信方法の検討や、現在の把握、各施策・事業等の検討などについて、ご協賛いただくべく、公募を踏まえて選定した7名の方に委員を委嘱しました。

委員の任期は2年間で、10月25日に開催した第1回目の協議会において、委員長に草野行政区の大井利裕さんを、副委員長に安斎香さんを互選により選任し、委員それぞれが「わくわく」を感じることを話し合い、今後、飯舘村全体の「わくわく」の創出を実現すべく、より具体的な協議を進めていくことといたします。

新型コロナウイルス関係

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について、村内居住者の2回目の接種率は、11月19日現在で89.8%となっており、村内・村外を併せると84.6%となっています。
また、現在国が進めている3回目ワクチン接種ですが、2回目接種後8か月を経過した方から順に対象となるため、12月1月は令和3年当初に、先行して接種が進められた医療機関や介護施設等の従事者の方が対象となります。村民の多くの方々は2月以降が接種時期となるため、今後、接種券等を順次送付し、ご案内する予定で準備を進めています。

なお、3回目のワクチン接種については、村内で接種できるよう調整を進めており、12月中旬に「村内でのワクチン接種を希望するかどうか」などの意向調査を実施し、その結果をもとに、令和4年の2月下旬から接種できるような体制を整備していきます。

農政関係

避難指示解除後5度目を迎えたこの秋に、水田約176haで稲刈りが実施され、うるち米の「里山のつぶ」「天のつぶ」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」や、もち米の「こがねもち」「ヒメノモチ」、飼料用米の「ふくひびき」のほか、酒米、ホールクroppサイレージが収穫されました。
これらについては、今年度から稼働を開始した飯舘村ライスセンターにおいて、全量全袋検査等が可能となったことから、村内において11月下旬までに県が定めるモニタリング検査を実施し、全量が検出限界値未満であることを確認・公表し、放射性物質濃度を適正に計測した主食用米、飼料用米として、自家保有米等を除くその全量がJAに出荷されています。

また今年度、村が新たな特産品開発のために、震災前の平成22年度以来、11年ぶりに作付けた県オリジナル品種のもち米「あぶくまもち」は、前田地区の圃場16アールで870kgが収穫されました。

村道機能回復工事

今年度計画している22路線、延長21.7kmは令和3年12月末にはすべて完了の見込みです。本事業は、安全と快適な通行に寄与するものです。

また、普通河川の清掃業務いわゆる土砂上げですが、延長3.2kmを今年度実施し、ひととおりの土砂上げが完了します。

学校教育関係

昨年度は実施を見送っていましたが、前期課程の児童全員による稲刈り体験授業についても10月8日に実施し、平成30年度から子ども達が村内での米作りを続けてきた中で、本年度ようやく、直接自分たちが植え、稲刈りをしたお米を、学校給食で食べるのができました。生産者や地域の協力者を学校に呼びよしの試食会、交流事業も行い、一歩進んだ地域密着型のふるさと学習に取り組むことができました。



飯舘 百景

いいたて冬まつり

イルミネーション点灯式に集まった子ども達。大きな瞳が、灯されたイルミネーションの光を宿してキラキラと輝いていました。飯舘村商工会青年部が設置した道の駅周辺のイルミネーションは、1月16日まで楽しむことができます。



キャンドルの灯りがつくりだす幻想的な世界
※大槻さんによる展示(道の駅隣接のガラスハウス)



光を灯した夜の広場をジャズの生演奏が彩りました



冬空に映え観客を魅了した商工会主催の「冬の花火」

12月11日、村では一日をかけて様々なイベントが開催されていました。
交流センター「ふれ愛館」では、地域おこし協力隊の大槻美友さんによるキャンドル作りをはじめ、木工教室、BOXフラワー製作などのワークショップや、「アルマーザ」によるベリーダンスの披露、「Sweet Nairi」によるジャズコンサートなどが行われました。また、「いいたて村の道の駅までい館」では、キャンドルやイルミネーションの点灯式

が行われ、家族や友人と訪れた多くの人が光のイベントを楽しみました。

一連の催しは、村商工会主催の『いいたて冬まつり』に合わせて開催されたもの。地域おこし協力隊や生涯学習課の事業なども同日開催とし、二つになって冬まつりを盛り上げました。

そしてこの日のラストを飾ったのは、第2回『いいたて冬の花火』。飯舘村の夜空にカラフルな大輪の花が咲くと、打ち上げの瞬間をわくわくして待っていた来場者から大きな歓声が上がりました。

皆さんにとって、2021年はどのような一年でしたか。コロナ対策を講じながら過ごす日々が続きましたが、ワクチン接種が進み、少しずつ前進していることを感じられたような気がします。新しい年も、健康第一、そして、穏やかに素敵な一年になりますように。

令和3年紙上成人式

1年越しのおめでとうを伝えたい!



菅野茜さん



就活頑張ります!

高橋里佳さん

大河内尚貴さん



社会人3年目
伊達市で頑張っています



大島一樹さん

佐藤琢真さん



管理栄養士の資格取得のため日々勉強を頑張っています

みんなに会いたい!



菅野美紀さん

元気に生きてます



庄司怜真さん

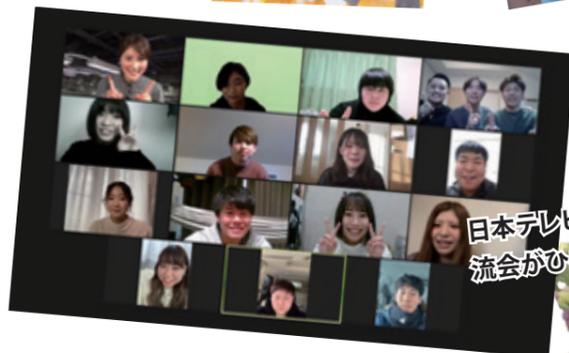


菅野翔太さん
花束を贈った際の写真です

「ふくしま駅伝」村キムアンカー!



細杉睦輝さん



日本テレビによるオンライン交流会がひらかれました。

改めて言わせてください

成人おめでとう!

新成人の皆さんが村での再会を心待ちにしていた令和3年飯館村成人式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止に。代替りの機会にと計画した夏の再会イベントも行うことができませんでした。この1年越しのおめでとうを広報紙上で改めて伝えたいと、生涯学習課が令和3年新成人と当時の先生方からメッセージを募りました。コロナに負けず頑張る新成人の笑顔と共に伝えたいです。



成人式が中止になり村が新成人に贈った村産の花の花束。

みなさんの幸せを祈っています



佐藤友紀先生

体を大事にしてくださいね



原田桂子先生

みんな元気になっていますか。幸せな人生を送るよう願っています。会えないのは残念ですが、これからもずっと応援しています。



笹山直子先生

元気にしていますか?



卒業時担任の玉野寛子先生



けんこう
あなたのお口は健口ですか？ 〈第3回〉 最終回

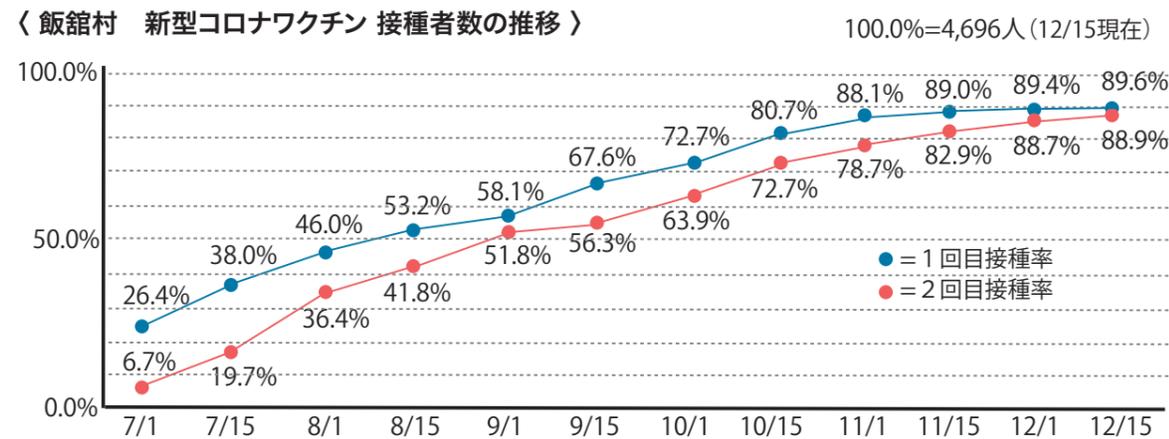
歯磨きや入れ歯のお手入れは毎食後しているでしょうか。
お口の健康は、全身の健康、生活の質も高めます。
今回はお口の健康と低栄養についてです。

- **低栄養とは**
低栄養とは噛む能力が弱くなったり食欲が低下したりする等の口腔機能の低下により食事が減り、エネルギーや栄養が不足している状態の事です。
- **お口の健康と低栄養**
歯がなかったり入れ歯が合わないまま放置したりすると固いものを避けて柔らかいものばかり食べる様になります。柔らかいものばかり食べていると噛む力が更に低下します。また、偏食となる為に栄養バランスも悪くなります。噛めないまま放置せず、歯医者さんを受診しましょう。
- **1日3食、バランス良く食事をしましょう**
1日3食規則正しく食事をしましょう。特にタンパク質が不足しないよう、肉、魚、卵、大豆製品、乳製品を毎食食べましょう。

新型コロナワクチン 接種者数の推移

飯 館村における新型コロナワクチンの接種は、12月15日現在、1回目接種を完了した村民が対象者全体の88.6%、2回目接種を完了した村民が88.9%に達しており(※下のグラフ参照)、現在は、国の方針の下、3回目の接種(追加接種)に向けた準備を進めています(※P25参照)。

新型コロナウイルスは新種のおミクロン株の感染が世界各地で拡大傾向にあり、国内での感染拡大も懸念されています。感染症対策は、気を緩めることなく、引き続き行いましょう。



問 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1637

こども園 NEWS **までいの里のこども園 笑顔でかけ声 もちつき会**



12月2日、『までいの里のこども園』でももちつき会が行われました。この日もち米として使われたのは、村でしか作っていない「あぶくまもち」。深谷有志の会の皆さんによる餅つきが始まると、「白いの見たー!」「がんばれー!」「よいしょー!」など、元気いっぱいの声が響きわたりました。園児達は、「口大の蒸し米を食べたり、年長組が実際に餅つきを体験したりと、本物の臼と杵でつく餅つきを楽しみました。」

こども園 NEWS **9年生がこども園で保育実習 手作りおもちゃと絵本で交流** 学園 NEWS

『いたて希望の里学園』の9年生が、12月7日・8日、『までいの里のこども園』で保育実習を行いました。来園した生徒は、3歳児・4歳児・5歳児の各学級をめぐり、フェルト生地で作った指人形やボールでの遊び、絵本の読み聞かせなどを実践しました。また、園の先生から話を聞く場面では、多くの質問をして、保育活動には年齢に応じたねらいがあることや、子どもの成長を支える関わり方などを熱心に学んでいました。



ボールを使って5歳児と運動遊び。「子ども達が喜んでくれてうれしかった」

学園 NEWS **ふくしまを17字で奏でよう 小林さん親子の作品が最優秀賞**



表彰式は12月11日に福島市で行われました

「ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業」は大人と子どもが一つのテーマで詠み合う十七字の作品を募集する県の事業です。4万2000組を超える今年度の応募の中から、『いたて希望の里学園』の小林桃さん(6年生)と母親・智美さんの作品が、「ふるさと」部門で最優秀賞を受賞しました。表彰式では、作品の発表に合わせて桃さんが、大雷神社のお祭りや人のあたたかさなどを村のよさとして紹介しました。

伊東勇一さん 藍綬褒章を受章 受章報告に来庁しました



報告後の記念撮影にて。右から大和田副団長、赤石澤団長、伊東さん、杉岡村長、高橋副村長

秋の褒章で伊東勇一さん(関沢)が藍綬褒章を受章しました。伊東さんは、飯館村消防団に昭和58年に入団、平成17年からは副分団長を務めていて、今回の受章はその消防功績によるものです。伊東さんは12月10日、赤石澤傳団長(飯樋町)、大和田保男副団長(八木沢・芦原)と来庁し、杉岡村長らに「家族の支えと団の皆さんのおかげです」と受章を報告。また、「村を守りたいと活動を続けてきました。入団者を増やし思いを伝えていきたい」と継承への意欲も話していました。

議員として貢献された 26年間に敬意を表します



立派な額の中での勲記と勲章が、受章の証です。写真は、受章報告に同行した妻のタツ子さん(右)と

11月3日付で国が発表した「令和3年秋の叙勲」。村では、平成元年から平成28年まで、7期26年の永きにわたって村議会議員を務めた佐藤長平さん(宮内)が、「旭日(きよくじつ)双光章」を受章しました。旭日双光章とは、長年の地方自治の功績に対して贈られるものです。12月8日、内堀雅雄福島県知事から表彰伝達を受けた後、受章報告のためご夫婦で来庁されました。多くの方からお祝いの言葉が届き、「支えてくれた方々のおかげです」と感謝を述べました。

老人クラブ活動での功績に 感謝状・表彰状を伝達



伝達式が行われたいちばん館のホールで、杉岡村長から県知事感謝状を受け取る菅野益夫さん

12月6日、いちばん館で、第34回「福島県高齢者福祉大会表彰受賞者伝達式」が行われ、飯館村老人クラブ連合会の元会長・菅野益夫さん(関根・松塚)に県知事感謝状、前会長・菅野敬さん(関根・松塚)に県老人クラブ連合会長表彰状が伝達されました。お二人は避難の間も、会員のつながりが失われないよう様々な活動を牽引しました。伝達式の後には同連合会の役員研修会が開かれ、杉岡村長、齋藤千恵子県老人クラブ連合会事務局長が講演を行いました。

「わくわく農業体験塾」で ハクサイ・ダイコンを収穫



収穫作業も齊藤さんの(中央)指導を受けながら。立派なハクサイ・大根を収穫しました

7月にスタートした「わくわく農業体験塾」、秋に定植したハクサイとダイコンが実り、12月初めに収穫を行いました。今年はベテラン農家・齊藤次男さん(深谷)の指導を受けながら、キュウリや枝豆・ナス・トマト・トウモロコシ・サツマイモなど様々な野菜作りに、13人の塾生が挑戦しました。この日収穫したハクサイとダイコンは、細杉今朝代さん(前田)の指導で豚汁と即席漬けに。塾生らは採り立ての野菜の味に舌鼓を打っていました。今年の収穫はこれではほぼ終わり、塾ではこれから、漬物や凍み餅などの加工食品づくりを学ぶ予定です。

街頭での呼びかけで 事件・事故を防ぎます



啓発グッズとして、夜間に光る反射材や防犯メッセージ入りの入浴剤などを配布しました

12月13日、「いいいて村の道の駅までい館」と金融機関で、『年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン』が行われました。この日は、飯館村防犯指導隊(渡邊富士男隊長/飯樋町)、飯館村交通安全指導隊(木幡保雄隊長/宮内)、大林組、南相馬警察署飯館駐在所の警察官ら約30人が、金融機関の従業員や来店客に啓発グッズを手渡し、防犯や交通安全を呼びかけました。開催式では、杉岡村長や佐藤靖高南相馬警察署生活安全課長が、隊員らに感謝を伝えました。

今年2回目のテニス教室で 寒さに負けない体づくりを



子どもからお年寄りまで幅広い年代の方が参加し、寒さにも負けず元気にプレーしました

12月4日、「いいいてスポーツ公園」で、第2回「テニス教室」が開催されました。これまでの事業が好評だったため、今年は初めて2回目も開催されました。冬の寒い時期にもかかわらず、村内外から世代を超えた18人が参加。硬式の講師は南相馬市の佐久間光弘先生、軟式の講師は村役場テニスクラブのメンバーが務めました。新型コロナウイルス感染拡大予防のためマスクをつけての開催でしたが、参加者の皆さんは生き生きと楽しそうにプレーしていました。

はなれていても

佐藤 俊雄さん（草野） 福島県福島市在住



東日本大震災が起きたのは、社会福祉協議会の事務局長を退職することになっていた年度末で、退職は5月末まで延びました。

その後は民生委員として社会福祉協議会が避難先で開くお茶飲み会に参加していましたが、避難先の家の隣りが地区の集会所だったことから、村の保健師さんと相談して、月に1回その集会所で「永井川カフェ」を開くことにしました。村を通じて

案内を出し、毎回20数人の村の人が集まるようになりました。事業期間は2年間でしたが、「集まるだけ、顔を見られるだけでいいから続けてほしい」という声が多くあつて、「世話人」を引き受けカフェを自分達で継続することにしました。準備も片付けも皆でやります。持ち寄りのお茶うけや手づくりの贈り物を携えて来る人もいます。始まったばかりの頃は辛い話、大変な話ばかりが

多かったです。今では自分の周りはこうだとか、散歩はどこでするだとか、それぞれ地域にとけ込んでいる様子があがります。そして、帰還した人も村から参加しています。楽しみにしている人がいる限り、できることをやっています。草野に建てた家で、家庭菜園をやりながら、村の歴史をゆつくり紐解いてみよう、退職後の夢を思い描いていました。小学生の頃から村で出土する土器片を拾うのが好きで、職場でも社会教育の仕事を長くしていたので、村の歴史を調べることがライフワークになっていました。今でも相馬郷土研究会に通っていますし、住む場所は変わりましたが、やっていることは同じです。かもしきれません。この10年間できなかつたことをやっていきたい。そして今までの集積が形になり、展示や公開ができる時が来たら、私もお手伝いをさせていただきます。

話題のパレット

「までいコーヒー」試飲会



佐藤俊彦さん(写真左端/草野)が勤務する『鈴木コーヒー』(新潟県)の新商品「までいコーヒー」の試飲会が、12月3日、『いいたて村の道の駅までい館』で行われました。「飯館村を応援したい」と企画されたドリップバッグの詰め合わせで、ラオスのコーヒー豆を使用しています。道の駅での店頭販売が始まりました。



福島市内のスーパーに登場



11月27日、ヨークベニマル泉店(福島市)に、高野靖夫さん(前田・八和木)がつくる菌床シイタケが初登場。『飯館村産 高野さんの「おっきな肉厚」生シイタケ』として県産野菜のコーナーに並びました。目を引く大きさが店頭の話者でしたが、大きいばかりでなくジューシーで香りも味も濃い逸品です。約20kgを完売しました。

おはなしのWA♪朗読会



ふるさとの魅力を再発見しようと活動する『いいたての宝さがしをしよう会』(菅野クニ代表/宮内)が、11月28日、交流センター「ふれ愛館」で、村産の食材を使った創作薬膳料理教室と、被災地支援に取り組む朗読グループ『おはなしのWA♪』(岡山県)の朗読会を開催。村のよさを表現する食・朗読・音楽に触れるひとときを、参加者が共に楽しみました。

和菓子づくり交流会



『いいたてネットワーク』(横山秀人代表/前田・八和木)では、12月5日、福島市飯坂町の旧堀切邸にて、同町一味庵の氏家一浩さんを講師に「和菓子づくり交流会」を実施しました。飯館村のいいたて雪っ娘がぼちゃと福島市のリンゴを材料とした「練りきり」づくりを楽しみました。小学生から70代と幅広い世代の14人が、同じものをつくり共に味わう、とても和やかな交流会となりました。



身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

『20歳の20冊』を贈ります



JPIC(出版文化産業振興財団)の協力のもと新成人に本を贈る『20歳の20冊』。遠藤教育長、4人の著名人、村が選んだ合わせて20冊から、新成人がそれぞれ読んでみたい1冊を選びます。『20歳の20冊』は交流センター「ふれ愛館」で借りて読むことができます。ぜひ手に取ってみてください。

交流センター「ふれ愛館」だより

■塩狩峠/三浦綾子/新潮社 ■まんがでわかる超一流の雑談力/前山三都里まんが・安田正監修/宝島社 ■青くて痛くて脆い/住野よる/KADOKAWA ■最後の医者は桜を見上げて君を想う/二宮敦人/TOPICS ■砂漠/伊坂幸太郎/実業之日本社 ■地球にちりばめられて/多和田葉子/講談社 ■サマーバケーションEP/古川日出男/KADOKAWA ■ムーンパレス/ポール・オースター著・柴田元幸訳/新潮社 ■AUオードリー・タン・天才T相づつ顔/アイリス・チユウ 鄭仲風/文藝春秋 ■ミライの授業/瀧本哲史/講談社 ■「言葉にできる」は武器になる。/梅田悟司/日本経済新聞出版社 ■未来をつくる言葉/わかあいなさをつなぐために/ドミニク・チエン/新潮社 ■夜と霧新版/ヴァクトール・E・フランクル著・池田香代子訳/みすず書房 ■希望のつくり方/玄田有史/岩波書店 ■もし僕らのことがウイスキーであったら/村上春樹/新潮社 ■幸せな死のために一刻も早くあなたにお伝えしたいこと/中山祐次郎/幻冬舎 ■家族シアター/辻村深月/講談社 ■ハリ・ポッター全7巻/J・K・ローリング著・松岡佑子訳/静山社 ■高野聖/肩かくしの霊/泉鏡花/岩波書店 ■朗読者/ベルンハルト・シュリンク著・松永美穂訳/新潮社



お知らせ

「新型コロナ対策」関連情報、「なりわい」補助金の詳細はそれぞれ同封のチラシでご確認ください。

「新型コロナ対策」関連情報

1 新型コロナウイルス感染予防のための給付金1万円を給付

マスク・消毒液・加湿器の購入など、各家庭の感染拡大防止に活用していただくため、村単独の予算で、1人につき1万円を世帯主に給付しました。

【対象者】基準日 令和3年11月25日時点において飯館村に住民登録がある方

【振込日】昨年度と振込先が同じ方は令和3年12月23日に振り込みました。

※それ以外の方は令和4年1月中の振り込みを予定しています。

問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

2 子育て世帯への臨時特別給付金10万円を一括給付

【年内一括支給対象者】

① 児童手当受給世帯(同居の高校生を含む)

② 児童手当所得制限により、支給停止となっている世帯(同居の高校生を含む)

【振込予定日】令和3年12月27日に、児童手当登録口座へ振り込みました。

※上記以外の、中学生以下の児童がいない世帯(高校生のみ養育世帯)及び公務員等の世帯については、申請が必要となるため改めて個別に通知します。1月以降の支給となります。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

3 村内に3回目のワクチン接種会場を設けます。

● 村内でのワクチン接種を希望される方には、村が接種日程を割り振ります。

● 個々に予約をする必要はありません。

● 2回目接種を令和3年7月31日までに終了している18歳以上の村民を対象に第1次の意向調査を発送しています。※返信は12月31日必着です。忘れずにご投函ください。

※それ以外の方には順次調査票を送付します。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

■ スタートアップ補助金(商工業版) ※対象者や補助額などの詳細は同封チラシで

● スタートダッシュ補助金

商工業の「本格操業」を始める方を支援

● スタートサポート補助金

手仕事の積み重ねで「なりわい興し(本格操業)」を目指す方を支援

■ ベンチャー起業補助金

■ 未来へつなぐいいたてのお米 支援事業

※詳細は同封のお知らせ版で

主食用米を作付けする農業担い手を支援

その他のなりわい補助金

詳しくは同封のチラシで

商工業に携わる方

■ 福島県創業促進・企業誘致に向けた設備投資等補助金(福島県)

■ 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金(経産省事業)

■ 県外から移住されて起業する方への支援

起業補助金(県補助) / 移住者補助金(県補助)

農畜産業に携わる方

■ 福島県原子力被災12市町村農業者支援事業[3/4補助金](県補助)

■ 素牛導入支援事業(村単独補助)

■ 営農再開支援事業(獣害対策・農地の地力回復他)

「なりわい」を興して、ふるさと「飯館村」を元気にしよう!

村単独補助の新たな制度

入札結果をお知らせします

入札日 / 11月30日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
特定復興再生拠点エリア集会所等施設整備工事(長泥字長泥地内)	440,000,000円	庄司建設工業(株)	令和4年3月下旬
特定復興再生拠点エリア集会所等施設整備工事監理業務(長泥字長泥地内)	8,107,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	令和4年3月下旬
水道施設標識新設工事(簡易水道給水区域内)	2,134,000円	旭産業(株)	令和4年3月下旬
河川等清掃業務(前田字古今明地内)	51,920,000円	濱田建設工業(株)	令和4年3月下旬
八和木荒屋敷1号橋修繕工事(飯樋字八和木地内)	1,760,000円	南福相建設	令和4年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2) 農業基盤整備工事(水路工)草野地区 第1回工事(草野字本町地内)	12,100,000円	荏原実業(株) 東北営業所	令和4年3月下旬

12月の村の動きと主なできごと

- 1日 行政区ヒアリング(村役場)
- 2日 山津見神社 新発見資料報道発表(山津見神社)
- 飯館村森林組合「木質バイオマス発電施設への未利用材(間伐材)安定供給に関する要望書」提出(村役場)
- 3日 行政区ヒアリング(村役場)
- 乳幼児健診(いちばん館)
- 長泥環境再生事業運営協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 4日 農業体験塾 白菜大根収穫(深谷地区)
- テニス教室(いいたてスポーツ公園)
- 5日 山津見神社 新発見資料一般公開(佐須公民館)
- 6日 第54回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 10日 子ども読書活動推進計画第2回策定委員会(ビレッジハウス)
- 10日 12月議会定例会(村議場)
- 11日 11区農地中間管理事業調印式(ビレッジハウス)
- いいたて冬まつり
- (交流センター「ふれ愛館」/いいたて村の道の駅までい館)
- 17日 飯館村商工会「いいたて冬の花火」(深谷地区)
- 17日 男女共同参画計画第3回策定委員会(福島市)
- 20日 第55回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 農業委員会定例会(村役場)
- 21日 福島大学学生による「村民食堂」(まていな家)
- 22日 読書メッセ「シジュンテスト」一般の部表彰式(村役場)
- 22日 読書メッセ「シジュンテスト」児童生徒の部表彰式(いいたて希望の里学園)
- 23日 読書メッセ「シジュンテスト」児童生徒の部表彰式(いいたて希望の里学園)
- 24日 定例教育委員会(村役場)
- 24日 第4回きこり・あいの沢活用検討プロジェクトチーム会議(村役場)
- 26日 土地改良区理事会(村役場)
- 26日 長泥地区第3回権利者説明会(福島県青少年会館)



〈ふるさと資源〉発掘図鑑



掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係
☎0244-42-1613までお気軽に。



12月11日、「いいたて村の道の駅までい館」で、花井さんが育てるカスミソウの販売と、その花を使った愛らしいアクセサリ製作のワークショップが行われました。



このカスミソウを使った手作りのアクセサリを手掛ける「F☆T HOUSE」のアクセサリ作家・野崎友美さんと初コラボしたイベントです。



花井由貴さん(左/大久保・外内)と野崎友美さん(右/福島市)



会員登録すると会員証が発行され、利用時の手続きがスムーズになります。



1回・1頭500円で利用できます。
年末年始の休業は12月28日～1月5日。

「いいたて村のドッグラン わんこの庭のびのび」(「ふかや風の子広場」隣)に便利な会員証ができました。



会員証ができて約2か月ですでに75人の登録をいただいています。雪が降っても利用できます。ぜひ遊びに来てくださいね。

いいたて村の道の駅までい館 佐藤祐太さん(伊丹沢)

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高野 碧人 <small>あおと</small>	聖也・有伽	小宮

結婚おめでとう

氏名	出身地
高野 智宏	大倉
吉保 香織	福島市

ひとのうごき

11月1日～30日までの		◆◆人口動態◆◆	
人口	今月(前月比)	転入	転出
男	2512人 (-4)	4人	10人
女	2497人 (-4)	0人	0人
計	5009人 (-8)	4人	10人
世帯数	1815戸 (+2)	(住民基本台帳人口)	

(11月21日から12月17日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
大谷 春吉	97	小宮
高橋 忠男	75	小宮
半澤 勝	86	飯樋町
坂本 登	97	小宮
佐藤 郁子	81	比叡
嶋原 キン	95	飯樋町
村山 二郎	95	深谷
高橋 八ナ子	92	前田

ご冥福をお祈り申し上げます

地域おこし協力隊 いいたてDIARY

ダイアリー

なんと!?

もう1年が終わってしまいます。

思うように活動や気持ちの切り替えができず、自分はいかに鈍いのかと痛感し、同時に飯館に人を呼ぶことにどうしてもこだわりたい自分がいたのだと気付いた年でした。身動きが取れない分「自分に肥やしを蒔く年」とし、悩みそと言う名の畑をフカフカにする為、ワークショップや研修に積極的に参加し、エネルギーと新たな発想を吸収。ずっと出来ず終いだった飯館の風土を知る事やいいたて結い農園のふるさと納税返礼品(右上の写真)のお手伝いを通して、やっぱり田舎っていいなあと思ったり。振り返ると意外と充実した一年でした(笑)

飯館めっちゃ楽しい!



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊 二瓶 麻美さん



おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

凍み大根の巻

餅も自家製です。家の畑で様々な野菜を育てています。凍み大根や凍み

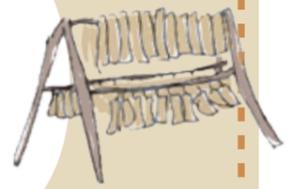


池田サツキさん(大久保・外内)

凍み大根の作り方

大根を洗って皮をむきます。太い大根は真ん中を縦にさいて切ります。上の部分に2本1組に紐を通して水につけておきます。天気予報で氷点下の寒い晩になることを確かめて外に吊り下げます。夜の間に凍って白い大根がめめ色になります。後はしばらく太陽にあてて干しておきます。だんだん乾いてカラカラに乾燥したらできあがり。冬につくって夏になっても食べていただける保存食です。

寒い夜を選んで干すのが大事!



育てた野菜をたっぷり使い日々の食事を大事にしています。

凍み大根のお煮しめ



凍み大根は水を替えながらやわやわになるまで戻し、時間をかけて下茹でします。歯切れがよくなるまで煮えたら、他の具材と合わせて煮しめにします。合わせる具材は、さつま揚げ・身欠きにしん、ジャガイモ・里芋などお好みで選んでください。

独特の食感がたまりません

境内の「虎捕山寶庫」調査で確認 山津見神社の新発見資料を公開

古くから内外の信仰を集める佐須地区の山津見神社。

全村避難中の平成25年に火災に遭い、再建の際には焼失したオオカミ天井絵の復元でも注目されました。現在、境内の土蔵「虎捕山寶庫」で新たに見つかった資料の調査が進められています。12月には村内で報道発表と一般公開が行われました。



12月2日、報道向けに資料の解説を行う石黒館長

発見された資料は、土蔵に保管されていた絵馬、版木、火災の焼け跡から見つかったオオカミ像など132点。南東北エリアに信仰が広まっていたことを示す奉納品や、創建にまつわる伝承を裏付ける江戸時代の棟札など、存在が明らかになつていなかった実物資料も含まれています。報道発表は社務所で、一般公開は佐須公民館で行われ、調査を行っている村田町歴史みらい館の石黒伸二朗館長が、資料の解説を行いました。



掛け軸用の版木



奉納された絵馬



12月5日には佐須公民館で一般公開



江戸時代の社殿再建を記した棟札

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち 第9回

Native Speakers

この意味は...
ほだからへだべ。

スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね
または検索で!

飯館村 YouTube

〈編集後記〉

●2021年は、人生の中でも一番早く過ぎ去った1年でした。365日マスクを付けての生活。こんな日々がくることを、数年前は誰が想像していたでしょうか。もっとアクティブに、いろんな所へ出かけたかったなあと、悔しい思いが芽生えています。年女の2022

年、少しでも多く素敵なことがありますように。皆様にも、私にも。(菅野)

●会いたい時に会えて、行きたい所に行ける、そんな日常が早く戻ってほしいです。ね...その日のために、医療や介護の最前線にいてくださる方への感謝を忘れず、新しい年もみんなまでコツコツ頑張っていきますよ。(星)